

# 2020 自宅課題 I

2020.5.7

対象 屋間部 油彩・日本画志望コース

実施期間 5月8日(金)～5月17日(日)

提出期日 5月18日(月)

必須課題です。自宅課題 I の A・B 両方を制作しなさい。

## 課題 A

B4 または B3 サイズの画用紙に『自分の目元』の細密描写を 1 点制作しなさい。

〈条件〉

1. 鉛筆で描きなさい。
2. 用紙の縦横は自由。
3. 写真ではなく鏡を見て描くこと。
4. 必ずしも両目でなくてもよい。
5. B4 または B3 サイズの画用紙がなければ他の紙やクロッキー帳などで代用してもよい。

## 課題 B

「私の好きな世界」をテーマに画像を 100 枚収集しなさい。

自分の好きな作品をベースにして画像を 100 枚集めてください。画像はテーマに沿った作品や画像であればネット上にある写真でも、自身で撮影したものでかまいません。

提出方法は PC 上でファイルにまとめるか、ドロップボックスで担当教員に送付してください。紙媒体に印刷する必要はありません。

# 2020 自宅課題 II

2020.5.7

対象 屋間部 油彩・日本画志望コース

実施期間 5月8日(金)～5月17日(日)

提出期日 5月18日(月)

選択課題です。自宅課題 II の内から 1 つを選び制作しなさい。

**課題：ドローイングを 100 枚制作しなさい。**

ドローイングは Drawing と書いて英語で、“線を引く”“図面”などを意味します。美術の世界では、紙などに鉛筆やペン、水彩などで描かれた表現形式を言います。ドローイングは、デッサンやスケッチと似ているけど、もう少し積極的な意味があります。実は、単なる下図ではなく、ペインティングと同等の価値を持ちます。それでいて技術的な制約が少ないのが特徴です。

まずは、自分が興味を持っているもの、好きな物を描いていく。実際にそれを見ながら描いてもいいし、想像で描いてもよい。自分の考えとか日記的なこととか思いとか気持ちとか、また何も描くことがなければ、ただ手を動かすのもあり。具体的なものを描かずに抽象でもかまわない。立体的でも平面的でも漫画的でもイラスト的でもかまわない。点を打ち続けたっていいし、目をつぶって描いてもいい。制作時間は 1 分でも 10 分でも 1 時間でも自由。ドローイングの目的は、技術的な物は後からいくらでも訓練することができるので、そうじゃないところで、生な自分の表現というか、自分に没頭できる方法なり対象なりを見つけることにある。

とにかく、紙をじっと見つめて考えるのではなく、手を動かしながら考える。黙々と、ぐいぐい描く。描く、そして線が引かれるたび、絵の具がのばされるたびに画面が自ずから立ち上がってくる。そこに乗かっていくこと。

画材

ドローイングに使用する紙は、紙ならどんな紙でもいいし、大きさも、B3 画サイズ以内であれば自由。画材は油絵の具以外の描画材（鉛筆、木炭、水彩、炭、クレパス、パステルなど）を使用すること。コラージュやコラージュの上からのドローイングも OK。

# 2020 自宅課題Ⅱ

2020.5.7

対象 屋間部 油彩・日本画志望コース

実施期間 5月8日(金)～5月17日(日)

提出期日 5月18日(月)

選択課題です。自宅課題Ⅱの内から1つを選び制作しなさい。

**課題：クロッキーを100枚制作しなさい。**

クロッキーに使用する画材は自由です。鉛筆、コンテ、パステル、水彩、ボールペン、サインペン、何でもかまいません。条件は一枚々々を短時間(3分から10分程度)で制作することです。モチーフも自由です。人物全身や手などの部分を描いてもいいし、動物、風景、日用品など、自分の目で観察できるものであれば、何でもかまいません。

クロッキーはじっくり形を図りながら描くデッサンと違い、主観的、直感的、即興的な描画です。満足のいく作品ができあがらなくても短時間で描くことが重要です。5分なら5分と決めて描くようにしてください。

自宅課題なので、実際に見て描くためのモチーフが少ないかとは思いますが、同じようなモチーフを、角度を変えるなどして繰り返し描いてもかまいません。